

平成26年度事務事業評価シート		該当事業(評価対象外事業は基本情報のみ記載)		
		一般事務	公共建設事業	評価対象外事業
事務事業名	障害者福祉計画事業			
予算科目	3 款 1 項 13 目			
総合計画での位置付け	福祉の向上と保健・医療の充実～やすらぎとぬくもりのまちづくり～福祉施策の向上と充実			
所管課情報	担当課:	福祉課	電話番号(内線):	538
記入者情報	所属長:	渡辺 悦子	担当責任者:	大森 秀泰
事業の性格	法定事務			
実施期間	【開始年度】平成 26 年度 【開始年度】平成26年度			
事業の対象	障害児・障害者			
根拠法令等				
事業の目的	障害のある人を取り巻く変化に適切に対応し、本誌が目指す「やすらぎとぬくもりのあるまちづくり」を実現するため、協働・育み・安心・活力・交流の5つをテーマとした福祉、住宅、教育、就労など幅広い分野の施策の推進を図る。			
事業の内容	伊予市障害者計画・第4期障害福祉計画を策定する。			
改善策の具体的な取り組み(当初)				
改善策の具体的な取り組み				

事業費及び財源内訳					
項目		25年度決算	26年度予算	9月末の執行状況	26年度決算
事業費	直接事業費	0	2,418	308	2,040
	人件費	0	954	477	954
	合計	0	3,372	785	2,994
人件費内訳	人工数	0.00	0.12	0.06	0.12
	人件費単価	0	7,954	7,954	7,954
	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	0	954	477	954
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	0	3,372	785	2,994

事業活動の実績(活動指標)					
項目	単位	25年度実績	26年度予定	9月末の実績	26年度実績
計画書作成	部	0	100	0	100
計画書概要版作成	部	0	300	0	300
障害福祉計画策定審議会	回	0	3	0	3

向こう5年間の直接事業費の推移						
年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	5年間の実績
	145	150	2,500	150	150	3,095

成果指標				
成果指標	「伊予市障害者計画・第4期障害福祉計画書」及び「伊予市障害者計画・第4期障害福祉計画書概要版」の作成部数			
指標設定の考え方	計画作成が本事業の目的であるため、作成部数を成果指標とする。			
区分年度	25年度	26年度	27年度	目標29年度
目標	0	400	0	400
実績	0	400	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	計画策定に際して、他の部署との連携を密にしていく必要がある。計画を実のあるものにするために、職員、関係各位に周知徹底し、PDCA(計画、実行、チェック、改善)機能を発揮していくことが必要となる。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	5	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	5	
	有効性	事業の効果	5	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	昨年度まで障害者計画の策定及び検証業務は障害者福祉一般事務に含まれていたが、平成26年度に第4期障害者計画を策定し、次年度以降は事業検証を実施するため、新規に行政評価対象事業とした。今年度、計画を策定するために行ったアンケートや障害者計画策定審議会で挙げた課題を解決するため、3年間の計画期間中にどのような施策を展開し、具体的に実施したかということを検証することが、事業推進には重要なことである。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題